

(3) ICT部会



高齢者、障がい者、育児・介護を必要とする世代、在留外国人等、各人の違いを受け入れ、お互いに支えあい、認め合うことができる共生社会の実現に向け、その方策としてICTの活用を地域課題の一つとして検討してきました。

- ①デジタル活用の支援として、シニア世代のスマホ習熟のための教室を開催しました。受講者からは大好評で、さらにニーズに合わせた多様な取組と身近な場所で身近な人に気軽に相談できる関係づくり＝デジタル支援策が必要です。
- ②自治会・町内会ホームページなどの充実、地域情報の共有だけでなく、住民同士の支えあいや仲間づくりへの取組にも繋がります。
- ③紙ベースの情報とデジタル情報を組み合わせ、「誰一人取り残さない」ための情報共有と活用が望まれます。



<主なご意見(アンケート含む)>

- ・スマホ教室は、「初級」「レベルアップコース」などニーズに合わせた研修が必要。
- ・「ポータルサイト」と「回覧」は別です。回覧にはチェック機能など情報伝達の確認に必要な役割がある。

3. “今後のより良いまちづくり”に向けて寄せられた主なご意見

- シティープロモーションを強化し、湘南大庭の魅力発信を図る。
- いかに若い世代の転入率を上昇させるか。
- 子どもに楽しく、高齢者に生き甲斐のある安心なまちづくりを進める。
- 地域活動に興味・関心を高めることができる策を講じ、参加に繋げることが必要。
- 一人ひとりが自発的に地域活動に関わろうとする意識を持つことが大切。
- 地域づくりの担い手育成について、継続して取り組んで欲しい。

4. 第6期郷土づくり推進会議が始動します！

湘南大庭地区では、これまで推進会議で積み上げてきた活動や課題が2年間でリセットしてしまう傾向があり、その都度「ゼロからのスタート」に近い動きをしていました。そこで継続的に活動が前進できるよう、再任回数などを定めない独自のルールを策定しました。

まもなく、第6期郷土づくり推進会議が始動します。第5期で退任する委員メンバーは、“郷土づくり”の経験者として委員間で築き上げたネットワーク(繋がり)を最大限に活かし、全力で支援・応援します。

引き続き、「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」の実現に向け、住民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

湘南大庭地区

郷土づくり推進会議たより

第19号

事務局 湘南大庭市民センター
☎ 0466-87-1111

～第5期最終号～

「**住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭**」はどんなまち？

一人ひとりが主役で 共に助けあい 誰もが安心して暮らせる

コロナ禍のもと自治会連合会等のご協力により、全体集会(2月5日)を開催し、寒い中、ご協力・ご参加いただいた皆様に心よりお礼を申し上げます。

★ 全体集会 ★

- 【第1部 郷土づくり活動報告】健康増進部会/助けあい・支えあいの地域づくり部会/ICT部会
- 【第2部 ポータルサイトの活用と情報発信】慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス 学部生 久松 英嵩氏
- 【第3部 主役はあなた！地域社会と地域活動】藤沢市地域共生社会推進室 高松 祐維氏

住民アンケートの結果に基づき“郷土づくり推進会議”が取り組んできた、健康増進や買い物・移動支援、さらには地域情報を暮らしに活かすこと、これらは「一人ひとりが主役で共に支えあい、誰もが安心して暮らせるまちづくり(地域共生社会)」に繋がっているということを共有できたと思います。



議長あいさつ



第2部 講演会



SFC 久松氏

1. 質疑に対する回答

① 活発な地域活動をするために心がけることは？

コロナ禍で難しい面がありますが「地域づくりの主体は私たち地域住民である」という自覚を持ち、「一人ひとりが動いて繋がる」、そしてご近所や仲間の方に声を掛けあって進めて行くことを意識することです。今できることに取り組むことが大切です。

② 地域共生社会の実現に向けた市の支援は？

毎回定例会には、市民センターはもちろん、地域共生社会推進室などの職員と一緒に寄り添い、企画・立案など多くの面でサポートをいただいています。これが一番の支援です。

実際、「フレイル予防講座(健康づくり課・高齢者支援課)」「健康測定相談会(中北薬品(株))」「地

域の大型スーパーとの連携（イオン藤沢店）「シニアのかんたんスマホ講座（ソフトバンク）」などは、市民センターが速やかに調整し、企画内容（私たちの考え）を相手方に繋いでいただきました。今回、全体集会には市長などは出席していませんが、市とのパートナーシップは、市民センターを中心にしっかりと維持されています。

③ 地域共生社会に必要な取組とは？

誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めるうえで“自助・互助・共助・公助”が大切だと言われます。私たちが取り組んできたテーマは、いずれも『自助』『互助』に該当します。

私たちは、一人ひとりの困りごとを共有し、誰一人取り残さない活動を充実させていくことで“より良い地域づくり”に、そして“地域共生社会”に繋げていく必要があります。

<3つの部会と取り組んできたテーマは、いずれも『自助』『互助』がキーワード！>

- ① 健康増進部会・・・健康寿命の増進「フレイル予防」
- ② 助けあい・支えあいの地域づくり部会・・・買い物支援・移動支援
- ③ ICT部会・・・ICTを活用し、感度、鮮度の高い情報を届ける

湘南ライフタウンは半世紀（約50年）が経過し、時代とともに私たち住民は、様々な形で地域づくりを進めてきました。しかし、現在、都市基盤もコミュニティも疲弊している感が否めません。今こそ一人ひとりが“持続可能なまちづくり”を考え、実際に取り組んでいく必要があります。

すでに“将来のまちづくり”を見据え、住民が主体となった「地域活性化会議」は活発に活動しています。みんなが力を合わせ、それぞれの思いで「オール湘南大庭」で取り組んでいきましょう。

④ ポータルサイトの活用と情報発信の位置付けは？

地域団体等の活動・行事などの情報は、「ふらっと湘南大庭（ポータルサイト）」に掲載されています。これは地域にお住まいの方が趣味や運動ボランティア活動などの情報を得ながら心豊かな暮らしに役立てていただく取組です。



スマートフォンでも見やすく改良しました！
ぜひアクセスしてみてください。ご希望とマッチするものが見つかるかも知れません

「ふらっと湘南大庭」



上のQRコードを読み込むか、インターネットで検索！

ライン公式アカウント



湘南大庭のイベント情報を発信させていただきますので、自動で受け取ることが可能です。

LINE 友だち追加

2. 各部会からの報告&アンケート意見

(1) 健康増進部会



“湘南大庭”は高齢化率が市内トップの地区です。

いつまでも元気で健康に暮らすために、加齢に伴う心身・活力の低下で介護状態の手前となる「フレイル」に着目し、その予防となる3大要素（栄養摂取と口腔ケア・運動不足の解消・社会参加で人との会話）の改善を生活に定着させる活動を進めてきました。

- ①住民年齢の層が高い湘南大庭地区では、特にフレイル予防が大切です。新型コロナの影響もある中で1日の過ごし方を意識し、健康面で活動的な生活を送ることが重要です。
 - ②リーフレット『フレイルって何だろう？』を作成し、全戸配布を実施しました。
 - ③社会参加は地域全体を活発にします。参加して仲間づくりを進めましょう。
 - ④市のフレイル予防に初めて参画し、社会参加の大切さを参加者に伝えてきました。
- 今後も関連する講座等が開催される予定です。ぜひ積極的な参加をお願いします。

<主なご意見（アンケート含む）>

- ・今フレイルに陥っているお年寄りはどうするのか。
- ・元気な高齢者が気軽に集える場所づくりが望まれる。



(2) 助けあい・支えあいの地域づくり部会



地域のパイプ役となって、「住民だけでなく“湘南大庭”で事業を展開する民間企業と相互に助けあい、支えあっていくことができる地域にしたい」という強い思いで検討してきました。

様々な思いの中でも、身近な社会資源を活用した繋がりのある『地域づくり』を展開することができました。

- ①「コロナ禍で特に障がい者が活躍・活動できる場が少なくなった」という声を捉え、イオン藤沢店の催事スペースを活用した障がい者就労支援施設の販売（ドーナツ・うどん等）を企画・調整してきました。その結果、障がい者への「社会参加」と「住民理解の醸成」にご理解をいただき、店舗側の地域貢献や新たな集客など、双方にメリットある取組となりました。地域として大切にこの関係性を育んで行きたいです。
- ②地区を巡回する無料送迎バスの運行情報（3つの医療機関）を集約し、地域全体に欠かせない交通手段の一つとして紹介させていただきました。

<主なご意見（アンケート含む）>

- ・他店でも取り組んでいただけると良いと思う。
- ・スーパーや病院に協力を求める姿勢もいいけど、近隣住民同士で買い物を手伝っているのか。



<2月25日販売の様子>